

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2072200690		
法人名	社会福祉法人依田窪福祉会		
事業所名	グループホーム和田		
所在地	長野県小県郡長和町和田1550-2		
自己評価作成日	令和 2年 3月 1日	評価結果市町村受理日	令和 3年 4月 12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=2072200690-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限公司		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 3年 3月 4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・施設というような空間ではなく、住み慣れた家のような空間で(民家改修型)生活することができる。
 ご自宅で生活されていた頃と、環境の変化が大きくみられないよう居室空間なども、馴染みのものを持参できるようにするなど、ご家族とも話し合いながら、居室環境を整えている。
 ・職員・ご利用者が信頼関係が築けるよう、会話を大事にしたり、ご家族からもご自宅や若い頃の様子を伺ったりしながら、おひとりお一人に対してのケアができるようにしている。
 ・共用型認知症対応型通所介護事業を行うことで、閉ざされた空間でなく地域の方の自宅での様子を聞いたりしながら、ご利用者同士の会話にも外の情報を取り入れることができている。
 ・認知症に特化したケアが行えるよう、職員は研修や自己研鑽を行い、パーソン・センタード・ケアの考えをもとにひとときシートなどを使用しながらご利用者が主体になるようなケアに繋げている。
 ・地域の方との交流が多く持てるよう、イベントなどを行い、認知症を知っていただくような活動をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

旧中山道和田宿、美ヶ原高原への登り口近くに木造民家を改修した当ホームがある。開設から17年目を迎え「最後まで住み慣れた地域で生活出来る事。また、利用者の出来る力に着目していく。」というホーム理念を支援の柱とし家庭的な雰囲気や暮らしを大事にしつつ、一つの家族とし日々の暮らしを送っている。昨年の春以降「新型コロナウイルス」の感染拡大の影響を受け家族の面会自粛や外出ができない状況が続く、様々な制約を受けながらの活動が続いている。そのような中、職員は利用者の体調管理に細心の注意を払い、日々の検温、消毒、2時間に1回の換気等をきめ細かく行うよう徹底している。更に、職員についてもマスク使用、出勤時の検温、行動履歴の管理、家族の体調管理まできめ細かく行い、ホーム全体として感染対策に取り組んでいる。また、外出に制約がかかっている分食べることの楽しさに注力し、ホームに居ながらにして季節感を味わえる食事や、利用者も共に調理をし楽しいひと時を過ごせるようにしている。誕生日には「手造りケーキ」を楽しみ、お彼岸には「おはぎ」、節分には職員が鬼になり豆まきをし「恵方巻」を皆で作る、敬老会では職員の寸劇により新型コロナについて利用者が分かるように演じお知らせしたという。合わせて利用者の中に「蕎麦打ち」をされる方がおり、他の利用者も蕎麦打ち体験を楽しんでいる。なお、当ホームは3月28日に現在新築中の新しい施設に移転し新たなスタートを切る予定で、それを機に、より一層地域に密着し開かれたホームとして地域との交流に力を入れ、更に、親しまれるホームとして活動して行く意向である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通い場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		